

## 第15回 運営・研究部会

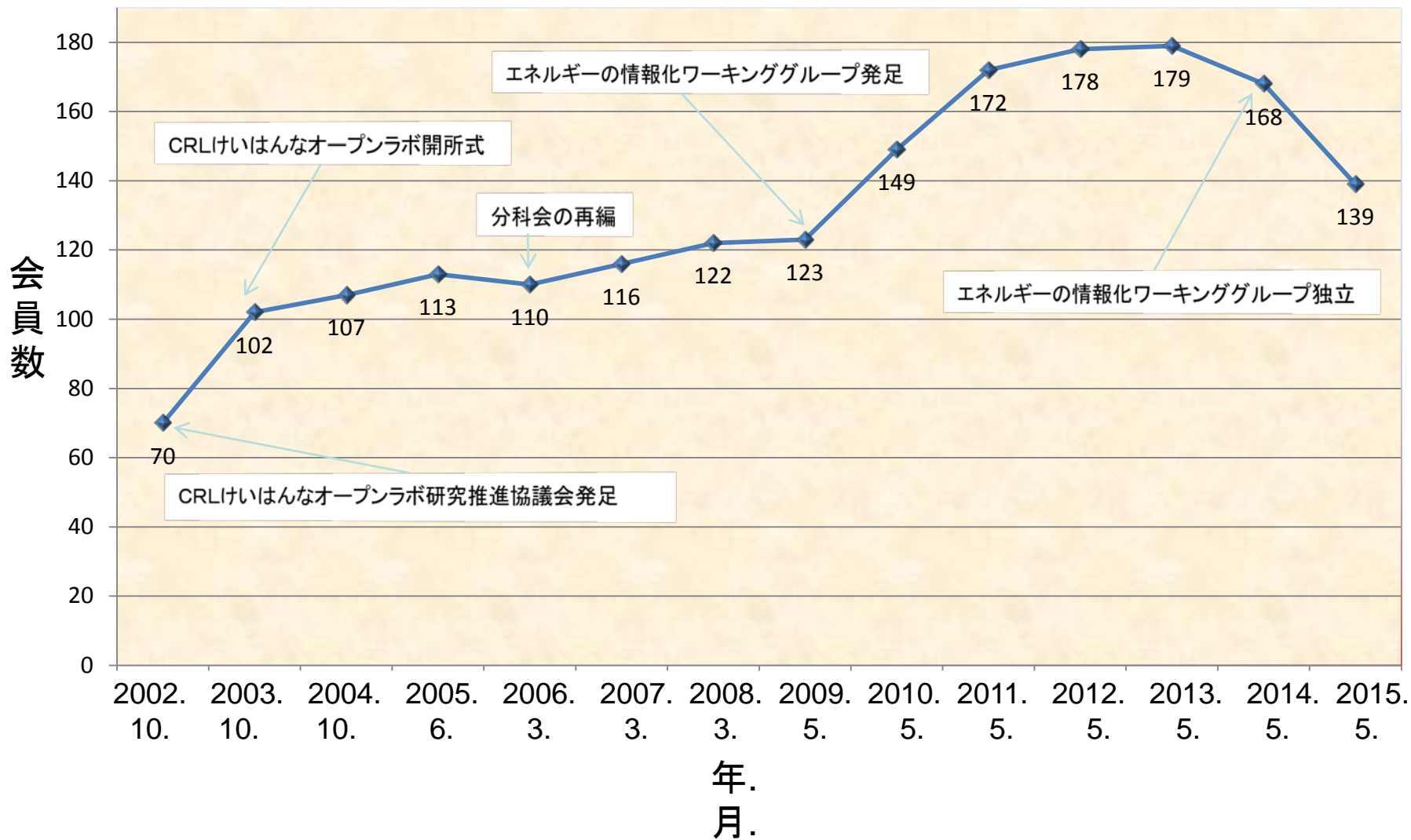
平成26年度活動報告・27年度計画(案)、  
および、オープンラボ利用状況

平成27年5月19日

## 平成26年度活動トピックス

- けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2014「グローバルコミュニケーション計画がもたらす多言語音声翻訳システムの社会実装」を開催した(12月8日、グランフロント大阪ナレッジシアター)。
- セミナー「降雨災害の軽減に向けた気象レーダーの利活用」を開催(3月24日)。
- けいはんな情報通信フェア2014において活動紹介の展示(11月6日～8日)。
- 総会での講演会を実施した(山下京都府副知事と千原奈良先端大名誉教授による講演、5月27日)。
- グローバルコミュニケーション準備WG、気象レーダー準備WGを設立し、活動を開始した。

# 会員数の推移



# 分科会参加状況（平成27年4月現在）

企画・広報分科会	
分科会	グローバルコミュニケーション準備WG
38	36

新世代ネットワーク分科会		
分科会	相互接続性検証WG	フォトニック準備WG
38	37	1

ユニバーサルコミュニケーション分科会			
分科会	ユビキタスネットワーク ロボットWG	映像コミュニケーション WG	気象レーダーWG
21	12	9	4

\* WGに所属せず、分科会のみ所属している人もいます。

# 平成26年度オープンラボ利用状況





## <新世代ネットワーク分野>

プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
自律分散型情報管理基盤技術の研究開発	有限会社咲楽屋	3	SuperNodeを必要としない自律分散型情報管理技術の研究開発をおこなうとともに、IPv6の機能を活かしたシステムの開発をおこなう。
クラウド環境下における各種資源の最適な配備選択方式の研究開発	株式会社アットフィード	5	クラウド環境下において計算資源を共有したり、計算資源の最適化をしたりするための技術開発をおこなう。
2	2	8	合計

## <ユニバーサルコミュニケーション分野>

プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
自動車運転行動情報センシング評価システムの長時間実業務仕様化とその全国的使用による交通安全情報マップの構築	株式会社ATR-Sensetech	6	事故防止のための運転技能自動評価システムのユーザ親和性を格段に向上させ、かつ長時間の連続計測を可能にして、運送業務中のリアルタイム計測・分析をするシステムを開発する。
革新的な三次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発	沖電気工業株式会社	8	オフィス空間を共有する超臨場感テレワークシステムを開発し、実証実験をおこなう。
音声対話技術の事業化開発	株式会社ヒムズ	2	音声対話技術の実用化に向けて、対話システム技術の実働デモ開発、実用用途に備えたコーパス開発をおこなう。
立体映像用デバイスの開発	株式会社パリティ・イノベーションズ	5	明瞭な裸眼立体映像の観察を可能とすることを目的として、光変調素子の開発および離散光学系による実像結像光学素子の開発をおこなう。
4	4	21	合計

# 平成27年度のスケジュール(案)

	平成27年度 4月	7月	10月	1月	平成28年度 4月
総会	 第14回総会6/12				 第15回総会5月予定
運営・研究部会	 第15回部会5/19				 第16回部会4月予定
分科会	 企画・広報分科会: 研究開発プロジェクトの企画、研究交流、 研究活動推進支援、成果活用促進  研究系分科会: 研究開発プロジェクトの推進等				
シンポジウム等		 セミナー	 けいはんな情報 通信フェア 2015(10/29-31)	 セミナー	 協議会主催 シンポジウム

## 協議会をめぐる動き

○昨年の運営・研究部会において、関西のNICT関連協議会の統合について提案がなされた。

○事務局で検討を進め、統合に関するご意見を運営・研究部会メンバーに、9月に書面でうかがった。

○その後、関係協議会の事務局による議論で、統合には一足飛びに進まず、まず共通事務局を設置することでまとまった。

○具体的には、関西ICT研究交流会(仮称)を設立し、AC・Net、けいはんなオープンラボ研究推進協議会は、関西ICT研究交流会(仮称)に事務局機能を一部移管し、そこでのセミナー等の開催により、会員相互間の情報交換・交流を促すこととする。

○この結果、セミナーの数が増える、対象分野が広がる等、会員の参加機会が増すメリットが得られる。

○協議会の理念、目的、組織に変更はない。